

平成30年5月31日 第18回上田市公共交通活性化協議会

会長あいさつ 上田市都市建設部長 翠川会長

変更役員紹介 事務局 (竹内交通担当政策幹)

議題

(1) 平成29年度決算報告について(資料1)

事務局(峯村主任) 資料1 資料説明

質疑応答

(質問1: 翠川会長)

運賃低減バス事業報告の中のOD調査にかかった費用も活性化協議会の費用なのか。

(回答1: 事務局 朝日係長)

活性化協議会の費用ではない。

承認

(2) 平成30年度事業計画及び予算(案)について(資料2)

事務局(峯村主任) 資料2 資料説明

質疑応答

(質問1: 上田市自治会連合会〈丸子地域代表〉 寺島代表 以下 寺島代表)

公共交通利用促進・啓発等が決算と比べて極端に増えているが、何か今までと違うことをする予定があるのか。

(回答1: 朝日係長)

市内バス路線の運賃・運行体系の調査業務の予算が29年度に比べて多くなっている。

(質問2: 寺島代表)

運行体系の見直しに200万円もかかるのか。

(回答2: 竹内政策幹)

29年度に市の予算で4つの路線についてOD調査を行い、その費用が194万円だった。同じ調査内容にするかは検討中だが、それを参考にしながら予算立てをした。

承認

(3) 地域間幹線系統確保維持計画について(資料3)

事務局(峯村主任) 資料3 資料説明

協議していく点

1. 幹線系統の確保維持が必要か。

2. 幹線系統が利用者のニーズを反映しているか。

複数の市町村にまたがっているため、関係市町村でも協議しており、協議が整うと、
→長野県へ提出→長野県活性化協議会で協議し承認→国へ提出し認定をもらう

運行事業者の説明

上田バス 伊藤委員 上田バス（株）各路線について説明。

千曲バス 山崎委員 千曲バス（株）各路線について説明。

質疑応答

（質問1：寺島代表）

まりんこ号が大屋駅への乗り入れができないということは、何か法律上の問題があるのか。

（回答1：朝日係長）

法律的に乗り入れられないということではない。

（質問2：寺島代表）

丸子の交通部会で法律上のことで乗り入れは難しいという説明を受けたが、そのようなことはないのか。

（回答2：千曲バス 三浦部長）

市でも回答したとおり、法律上は問題ない。まりんこ号は幹線系統に接続している路線ということで承認を頂いている。様々な意見を加味しながら事務局と協議していく。

（補足：翠川会長）

丸子地区の都市再生整備計画事業の中で、実証運行の計画も出されているため、検討できる。

承認

（4）上田市生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）について（資料4）
事務局（峯村主任） 資料5 資料説明

協議していく点

1. 地域内フィーダーの必要性。
2. 今後の維持存続の必要性。
3. 運行形態が利用者のニーズに合致し、地域に適した内容になっているか。

事業者の説明

上田バス 伊藤委員 上田バス（株）各路線について説明。

千曲バス 山崎委員 千曲バス（株）各路線について説明。

質疑応答

(質問1：国交省北陸運輸局 近藤係長)

御屋敷公園線と東塩田線もフィーダー系統として申請するのか。

(回答1：朝日係長)

申請しない。(誤植)

承認

(5) 武石デマンド交通「武石スマイル号」の運行体系の変更について(資料5)
武石地域自治センター滝沢課長 資料5 資料説明

質疑応答

(質問1：寺島代表)

武石デマンド交通について概要を説明して欲しい。

(回答1：滝沢課長)

概要を説明。

(質問2：寺島代表)

登録をしていないと乗れないのか。登録料や取りまとめている事務経費はどのようなものか。

(回答2：滝沢課長)

登録したい場合は事務局に電話すれば登録できる。運行については市から商工会に年間委託料を支払って運行している。

(質問3：翠川会長)

小人はどこまでを指すのか。

(回答3：滝沢課長)

1歳以上、小学生以下である。

承認

(6) 夏休みキッズパスについて(資料6)
事務局(山川主事) 資料6 資料説明

質疑応答

(質問1：上田バス 伊藤課長 以下 伊藤課長)

キッズパスの実施の前に小学校に事前に通達はされているのか。

(回答1：朝日係長)

実施前に教育委員会を通じて校長会において周知をしている。

(質問2：伊藤課長)

実際に運転している時に小学生による危険行為にあったことがある。小学生に安全に乗ってもら

うために、学校側に周知して欲しい。

(回答2：朝日係長)

校長会に安全面を含めてお願いするようにしたい。

承認

(7) その他

ア. 事務局の考え方について

事務局 (朝日係長)

運賃低減バスの今後の方針、まちなか循環バスルート変更、市内循環バス運賃体系変更、オレンジバス運行体系の変更について今後の協議会に諮る予定。

イ. お願い

上小圏域障害者総合支援センター 橋詰所長

鉄道は障がいの程度によっては付き添い者が減免になる。バスにおいても一定期間でいいので、減免制度を設けてほしい。当事者団体がどのような意見を持っているのかのヒヤリングや、障がい者の方の意向確認等は今の時代必要になってくるのでは。

ウ. お願い

千曲バス労働組合 原田執行委員

毎年、労働組合では危険個所を調査し安全性を高める活動をしているが、なかなか改善が進まない。今までは組合単独の事業だったが、活性化協議会に協力を頂きたい。

回答 (管理課 樋口課長)

指摘して頂いたところを改めて確認して、道路環境を良好な状態にしていきたいと思う。いずれにしても、これからも密に連携していきたい。

回答 (長野県上田建設事務所 荻原課長)

十分注意はしているが予算的なこともあり、その中で優先箇所を決めて随時やっているところである。

閉会

以上